

すみだの産業

繊維・石炭・鉄道

平成30年9月4日(火)～11月4日(日)



すみだ郷土文化資料館



- 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）・第4火曜日
- 時 間：午前9時～午後5時（入館は4時半まで）
- 入館料：個人100円・団体（20名以上）80円・
中学生以下と身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・
精神障害者福祉保健手帳をお持ちの方は無料
- 所在地：墨田区向島2-3-5
- 電 話：03 (5619) 7034

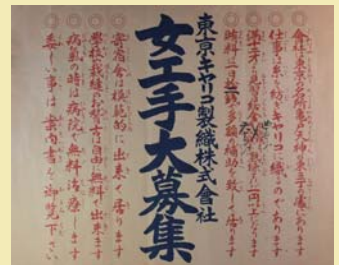
現在、墨田区は職人のまち、ものづくりのまちとしても広く知られています。そこで当館では明治時代以降のすみだの産業に光を当て、戦後の変遷までの軌跡を、繊維と石鹸を中心に明らかにします。

明治期の本所地域は、江戸時代の藩邸や幕臣の住居地から町人のまちへと変化していったと考えられています。その中で、中小工場が数多くできました。その後、本所地域の北側や向島地域に大規模な工場が相次いで建てられました。特に目立つのが紡績などの繊維産業と石鹸の工場です。繊維産業では、本所地域に多くのメリヤス工場が操業していたことも知られています。

その後、すみだの産業は、関東大震災と空襲による大きな被害を受けて、戦後を迎えます。生産を回復させ、

高度経済成長と時代が進む中、公害などもあり、大規模工場の移転が相次ぎました。その後の再開発では、工場跡地に本社を構える企業も現れました。近年は大規模工場が少なくなり、中小工場のまちのイメージがより強くなっています。

展示では写真を中心に、実物資料も交えてすみだの産業を振り返ります。



すみだの産業

繊維・石鹸・鉄道



■案内図および交通機関



- 東武伊勢崎線 「とうきょうスカイツリー」 駅より徒歩約7分
- 都営浅草線「本所吾妻橋」 駅より徒歩約8分
- 区内循環バス北西部ルート 「見番通り入口」 停留所より徒歩約5分



すみだ郷土文化資料館

墨田区向島 2-3-5 TEL03(5619)7034